

憲法と生命を守る*明日へ*

●自衛隊海外派兵を許さない強大な世論を●

南スーダン PKO 派遣差し止め訴訟原告 平和子さん

二〇一五年九月に成立した安全保障関連法(戦争法)の改正PKO協力法により、政府から「駆けつけ警護」「自衛隊の共同防衛」などの新たな任務を付与された自衛隊が、一六年に南スーダンに派遣されました。これに対して、現職の自衛官の息子を持つ母親の平和子さん(北海道千歳市在住)が原告となり、「自衛隊の南スーダンPKO(国連平和維持活動)への派遣は憲法に違反する」と派遣差し止めと撤退を求めて、同年十一月、札幌地裁に提訴しました。南スーダンPKO派遣問題で、自

同じ過ちをくり返させないために

憲法をめぐる大激動の年を予感させる情勢のなかで、二〇一八年の新しい年を迎えました。「婦人民主クラブ」は今年、創立七十二周年を迎えます。婦民新聞はそのスタートに当たり、憲法を守り抜く決意をこめて、自衛隊南スーダンPKO派遣差し止め訴訟をたたかう平和子さん(仮名)に「戦場に自衛官を送るな」の強い思いを語っていただきました。

新春訪問



自衛隊員の家族が訴訟を起こしたのは、全国で初めてのことです。平和さんは、この問題に

博文先生が声をかけてくださったのがきっかけです。私はあなたの主婦なので、最初は国を相手に訴訟を起こすなんて考えて

されているということを知ってびっくりし、集会などで発言していました。その記事が新聞に掲載されたことで弁護士の佐藤

「私は以前から平和運動に興味があって、イラク戦争反対のピースウォークや新聞への投書など、自分なりにやっていたのです。そういう人の息子は普通、自衛隊員にならないと思うのですが、経済的徴兵みたいな形で自衛隊員になったところがあります。」

息子は民間の建設会社に勤めていたのですが、その経営が傾いてしまっただけで、付き合っていた女

「反対することもしませんでした。平和さんの身辺は急速にあわたたしさを増していきます。「駆けつけ警護」で隊員が犠牲になる、自分が産んだ子も、誰の子も死なせたくない、その思いで平和さんはマイクを握り訴えました。ところがある日、息子が先輩から、母の名が自衛隊の情報関係の文書に記録されていることを知らされました。このことを息子から告げられた平和さんは、一

「一週間かけて息子への絶縁状を書きました。私の行動が息子を窮地に陥れることになってはいけません。彼には逃げられました。私には逃げられませんでした。」

「自衛隊の問題は、個人の自由の問題ではなく、日本全国の自衛隊員家族、ひいては日本全体の問題として認識しております。そして実際の現地の状況は格段に危機的であるというのに、「見切りの発車」のような形で派遣された隊員の国際的な立場はあやふやで、何かあった時の対応が何も決まってい

「この重大な人権侵害に對し、私と同じように声を上げる方が増えてくれることを願います。」

二度と違憲の海外派兵の過ちを繰り返させないために、自衛隊南スーダンPKO派遣差し止め訴訟と原告を支える会では「迅速・公正な審理を求め、自衛官の名を呼びかけて

かかわるそもその初めからをこう語ります。

「二〇一六年にあった衆院北海道五区の補選の時のことです。息子が所属する部隊が南スーダンPKO派遣の対象部隊に

「二〇一六年にあっては陸上自衛隊千歳駐屯地に勤務していました。」

「息子は民間の建設会社に勤めていたのですが、その経営が傾いてしまっただけで、付き合っていた女

「自衛隊の問題は、個人の自由の問題ではなく、日本全国の自衛隊員家族、ひいては日本全体の問題として認識しております。そして実際の現地の状況は格段に危機的であるというのに、「見切りの発車」のような形で派遣された隊員の国際的な立場はあやふやで、何かあった時の対応が何も決まってい

「この重大な人権侵害に對し、私と同じように声を上げる方が増えてくれることを願います。」

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

「自衛隊の問題は、個人の自由の問題ではなく、日本全国の自衛隊員家族、ひいては日本全体の問題として認識しております。そして実際の現地の状況は格段に危機的であるというのに、「見切りの発車」のような形で派遣された隊員の国際的な立場はあやふやで、何かあった時の対応が何も決まってい

「この重大な人権侵害に對し、私と同じように声を上げる方が増えてくれることを願います。」

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

平和さんはまたこうもいいます。「私は息子の命を守りたいその一点で活

南スーダンPKO派遣差し止め訴訟弁護団HPより



「自衛隊の問題は、個人の自由の問題ではなく、日本全国の自衛隊員家族、ひいては日本全体の問題として認識しております。そして実際の現地の状況は格段に危機的であるというのに、「見切りの発車」のような形で派遣された隊員の国際的な立場はあやふやで、何かあった時の対応が何も決まってい